

日本保健医療社会学会ニューズレター (No.128) 2024/7/31

目次

1. 第50回大会報告
2. 第51回大会告知
3. 総会報告
4. 園田賞報告
5. 理事会報告
6. 編集委員会報告
7. 定例研究会の報告（関東）
8. 定例研究会の報告（関西）
9. 看護・ケア研究部会報告・告知
10. 渉外・国際交流活動の告知
11. 50周年記念公開シンポジウム「薬害と保健医療社会学の50年」の動画閲覧について
12. 会員の動向
13. 編集後記

---

## 1. 第50回大会報告

2024年5月25日（土）～26日（日）、第50回大会を無事開催することができました。大会テーマ“『弱い』ままで生きられる社会のために”のもと、会長講演、教育講演、大会シンポジウムに加え、7セッション45本の一般演題と、8つのRTD、さらには、理事会による50周年記念公開シンポジウムもあり、約270名（うち40名Web）の参加を得ることができました。

当学会の大会運営は、企画委員会がメイン企画と広報・抄録集発行・運営などを担い、一般演題・RTDは、理事会のもとにある研究活動委員会が担っており、3月には大会関連企画の関東例会を開催していただきました。また、大会の抄録集は、「保健医療社会学論集」として、編集委員会事務局のもと発行され、親学会事務局から全会員に発送される仕組みになっています。ホームページやチラシは、前回大会から継続し、パソコンサロン夢像[就労継続支援B型]に依頼し、メインテーマに寄せて、多様な人々が暮らす森をメタファーとしたデザインをしてくださり、新体制の理事会、親学会事務局、編集事務局も含めて、細やかなサポートをいただきました。

このほか、さまざまな事情がある方の参加も可能にしたいと、事前申込限定でWeb参加を受け付け、自宅外には容易に出られない方の参加を得ることもできました。また、人工呼吸器利用者の参加もあるとのことで、エレベータや車いすトイレを計測し、スペースが必要な方には、実習室の一部を介護コーナーにする工夫をしました。さらに、事前相談の上、一般演題やRTDの登壇者の一部に各自対応でweb参加いただきました。とはいえ、運営側の限界で、託児施設を設けることはできず、誰もが使えるWi-Fiなども用意でき

ず、多様な方の参加を可能とするには多くのハードルがあることを痛感しました。一方で、当日は、東京医療保健大学千葉看護学部および千葉看護学研究科の学生、大学院生、修了生、教員、事務方の総勢40名によって、いろいろな配慮が円滑になされ、「ケア」に価値を置く「看護学」の強みを確信する機会ともなりました。準備期間と運営を含め、メイン企画・一般演題・RTDさらに、50周年記念企画のすべてを通じて、人間の「弱さ」が、「社会」のありようのもとにあること、そして、その「弱さ」に関わる「ケア」の主体とありようについて、熟慮する機会となりました。あらためて、みなさまに、心より感謝申し上げます。

(第50回大会長：吉田澄恵氏 [東京医療保健大学千葉看護学部])

## 2. 第51回大会告知

第51回大会は、長崎大学医歯薬学総合教育研究棟で開催いたします。開催日時は2025年5月24日(土) - 25日(日)です。メインテーマは、“Health and Medical Sociology in Motion: 「越境」をさぐる”です。このメインテーマには、単に国や地域の境界を越えるという意味だけではなく、異なる学問領域の境界、当事者と研究者の境界等を越えて、ダイナミックな保健医療社会学を構築しようという意味を込めました。本大会では、登壇者を除き、事前申し込みに関りWeb参加も受付ける予定です。詳細につきましては、11月ごろに公開予定のホームページをご確認ください。一般演題、RTDの募集は12月から公募予定です。なお、長崎市は国際的な観光地であり、昨今のインバウンド需要に伴い宿泊予約がとりにくくなっております。学会のご参加が決まりましたら、早めの宿泊予約をお勧めいたします。

(第51回大会長：平野裕子 [長崎大学生命医科学域保健学系])

## 3. 総会報告

第50回日本保健医療社会学会大会(千葉)の2日目2024年5月26日(日)に総会が行われました。総会議案書における各議案は以下の通りです。

第1号議案：2023年度事業報告

第2号議案：2023年度決算・監査報告

第3号議案：2024年度事業計画

第4号議案：2024年度予算

第1号議案から第4号議案までは議案書に基づいて説明が行われ、承認されました。

(石川理事：総務担当)

## 4. 園田賞報告

若手研究者の研究奨励を目的に2006年度に設置された日本保健医療社会学会奨励賞(2011年度より「園田賞」)の2023年度受賞者は、選考委員会による審査結果の報告を踏まえ、理事会で審議の上、以下のとおり決定しました。

受賞者: 大江祐介氏 (山形県立中央病院)

受賞作: 大江裕介・安保寛明・山内典子「入退院を繰り返す慢性心不全患者の経験に関する質的研究」(『保健医療社会学論集』第34巻1号、pp. 99-109、2023年)

2023年度奨励賞は、この年度に発行された本学会機関誌『保健医療社会学論集』(第34巻)に掲載された若手研究者による論文(総説、原著、研究ノート)を対象にして選考されました。

(佐藤理事: 園田賞選考委員会)

## 5. 理事会報告

2024年5月13日(月)に2024年度第1回理事会が開催されました。詳細は以下の通りです。

日時: 2024年5月13日(月) 16:00~18:00

会場: ZOOM 会議

出席者: 金子会長、石川理事、田代理事、海老田理事、松繁理事、平野理事、井口理事、朝倉監事、黒田監事、事務局 平野(記 国際文献社)

欠席者: 三井理事、佐藤理事、美馬理事

### 1) 広報委員会報告

井口理事より、ニューズレター128号の目次について説明があった。編集委員会報告の項目を追加し、7月中の発行を目指すことが伝えられた。

### 2) 第50回大会および総会についての確認

金子会長より、総会議案書について修正がある場合は5月16日までに事務局へ連絡することが確認された。

### 3) 大会時評議員会の議題について

金子会長より、会員への還元方法等、学会運営について自由に意見を交換する予定であることが伝えられた。

### 4) 育志賞について

石川理事より、例年、園田賞受賞者が育志賞の条件を満たしている場合は推薦することとしていたが、今回の園田賞受賞者は条件を満たさないため、推薦はしないことが説明された。

### 5) 編集委員会報告

田代理事より、学会誌印刷費の値上げについて説明があり、承認された。大会時の編集委員会について、例年、大会長講演やシンポジウムと重なる時間帯で各委員会が開催されていたが、今後は重ならないようにスケジュールすることとした。

### 6) 研究活動委員会報告

松繁理事より3月23日に第50回大会との連動企画として定例研究会を開催したとの報

告があった。看護・ケア研究部会の役員選挙を行い、5月の看護・ケア研究部会総会にて報告する予定であることが伝えられた。

7) 渉外・国際交流活動の報告

平野理事より、アメリカ老年学会、第19回アジア太平洋社会学会、ISA RC52 Interim Meeting 2024の3つの国際学会の情報をニューズレターにて情報提供したとの報告があった。

8) 入退会者の承認

石川理事より、入会者10名の承認依頼があり、全員承認された。退会は38名、資格停止退会は3名との報告があった。学生会員への変更19名、常勤職にない会員の減額申請23名、シニア会員への変更8名の承認依頼があり、全員承認された。

9) その他

平野理事より、現行のシニア会員制度及び常勤職にない会員の会費減額制度の見直しの提案があり、シニア会員の条件から会員年数を削除し、「通常会員で、かつ申請する年度末時点で65歳以上」とすることとした。5月総会で規約を変更し、2025年度から適用することとなった。

朝倉監事より、繰越額が増えていることから、新規事業等、会員への還元方法を検討していく必要があることを5月総会の監査報告時に伝える予定であることが伝えられた。

(石川理事：総務担当)

## 6. 編集委員会報告

### 投稿・査読システム運用開始のお知らせ

既に総会等でお伝えしていた通り、本学会では2024年7月1日より改正された投稿規程等を施行し、今後は学会誌への投稿を投稿・査読システム(iap\*cloud)を通じて受け付けることと致しました。投稿を検討されている会員におかれましては、学会ウェブサイトをご確認頂き、投稿規程等をご確認の上、システムへのログインが可能かどうか、事前に確認をお願い致します(<https://iap-jp.org/jshms/journal/login>)。

なお、ログインの際に必要なID(会員番号)及びパスワードはウェブサイトのマイページと同じものです。また、会員番号は2024年7月1日に事務局より送信された「投稿・査読システム導入のお知らせ」と題したメールに記載されていますので、よろしくご確認下さい。

(田代理事：学会誌編集担当)

## 7. 定例研究会の報告・告知(関東)

2024年度の関東定例研究会は、下記の通り開催する予定です(以下、敬称略)。

### 【第1回】

12/15(日) 13:30~16:30 大妻女子大学千代田キャンパス G棟 G525

<https://www.otsuma.ac.jp/about/basic/access/chiyodacampus/>

報告者：浜田明範（東京大学）

タイトル（仮）：「感染症が駆動する科学と社会：パラ医療批判の人類学に向けて」

討論者：伊藤嘉高（新潟大学）・三枝七都子（杏林大学）

司会：松繁卓哉（追手門大学）・牛山美穂（大妻女子大学）

社会学や人類学は、生物医学とは異なる観点を保健・医療・福祉の領域にもたらしてきた。だが、単に生物医学を批判的に捉えかえすだけでいい時代は、終わりを告げつつある。その批判的な潜勢力を活かしつつ、それでいて批判にとどまらずにいま必要なことを探るとしたら、どのような形があり得るのか。コロナ禍という未曾有の経験を前に、この点に取り組んでこられた浜田明範さんのお話を伺うことで、保健医療社会学の将来を見通していきたい。

### 【第2回】

3/1（土）13:30～16:30 明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント 3F4031

[https://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/suruga/campus.html](https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html)

「セクシュアル・マイノリティをめぐる医療」

報告者：大島岳（明治大学）・小西優実（東京大学大学院）

討論者：新ヶ江章友（大阪公立大学）・志水洋人（名古屋大学）

司会：松繁卓哉（追手門大学）・三井さよ（法政大学）

セクシュアル・マイノリティにとっての医療とは、どのようなものか。これを知ろうとすることは、医療を多様な人びとにもっと開かれたものにする一助となるだけでなく、現代社会において医療とは人びとにとってどのようなものとなりつつあるのかを、先鋭的な事例から探ることでもある。HIV とともに生きる人や周囲の人たちがいわゆる患者会的な活動を超えて緩やかに紡いでいったネットワークや、性別移行の医療を提供する医療者の立場から見たトランス医療の具体的な現状などを通して、古典的医療者—患者関係論を超える手がかりを探る機会としたい。

\*どちらについても、補助的な手段として Zoom での配信も行う予定です。日程が近づいたら、詳細について会員一斉メール・ホームページ等でご案内いたします。ただ、会場や運営側の技量の限界があるため、あくまでも補助的手段としての試験的運用にとどまります。この点をご理解いただける方のみ、ご利用くださいませ。

（三井理事：研究活動担当）

## 8. 定例研究会の報告・告知（関西）

日本保健医療社会学会関西定例研究会は、第1回は未定で検討中ですが、第2回は、第51

回大会プレ企画として、看護・ケア部会公開例会との共催で、2月半ばに、海外出身で日本での介護職に従事されている方に話題提供していただいて、ハイブリッド形式で行う予定です。

(美馬理事：研究活動担当)

## 9. 看護・ケア研究部会報告・告知

### 1) 新役員体制について

今年度、看護・ケア研究部会は役員の交代となり、部会員による役員選挙の投票結果に基づき、部会長は本多康生（福岡大学）、副部会長は坂井志織（淑徳大学）、庶務は細野知子（日本赤十字看護大学）、会計は松繁卓哉（追手門学院大学）となることが、第50回大会で開催された部会の総会で承認されました。

### 2) 新部会長より

今期、部会長を拝命しました本多です。私は、ハンセン病問題、東日本大震災・熊本地震被災地の高齢者支援、民生委員活動などを社会学の立場から研究しています。2004年に看護・ケア研究部会（旧看護部会）に入会しましたので、会員歴はちょうど20年になります。小さな部会でしたが、現在は会員数が72名になり、規模も大きくなりました。看護学と社会学の架け橋となってきた部会の歴史を引き継ぎながら、少しずつ新たな試みも進めていきたいと思っております。今年度は、関西地方で初めて公開企画を開催する予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

### 3) 2024年度研究例会の開催予定について

今年度は以下の3回の研究例会を開催します。

第1回研究例会（オンライン開催）：2024年7月27日 土曜日 14:00～17:00

第2回研究例会（オンライン開催）：2024年9月14日 土曜日 14:00～17:00

第3回研究例会（オンライン開催）：2024年12月21日 土曜日 14:00～17:00

第1回研究会のご案内は以下の通りです。

#### 【開催日時】

第1回オンライン開催：2024年7月27日 土曜日 14-17時

報告者第1席：須賀郁子さん 博士論文（ホームレス支援の医療人留学的研究－ハウジングファースト東京プロジェクトに関わる医療者たちの眼差しの変化、章佑会やすらぎの里北小岩）の形成過程を振り返る

報告者第2席：末武友紀子さん（日本赤十字看護大学大学院）「看護師の被抑圧者集団行動」の概念分析

#### 【参加申込フォーム】

研究例会にご参加を希望される方はこちらのフォームからお申し込みください。

皆様のご参加をお待ちしております。

<https://forms.gle/foVRiyaaDyA3NReB7>

#### 4) 今後のお知らせ及び報告者の募集

定例研究会の報告者を募集しております。

基本的に毎回2名の報告者を募集しております。

対面開催時、100km以上遠方からお越しの報告者には、ご本人が希望する際に限って、交通費の半額（領収書を当日お持ちください）を補助します（ただし上限2万円）。

事前に資料を印刷してご持参いただきますので、印刷の領収書（レシート）をもって実費支給補助制度もあります。

#### 【報告者募集】

研究例会でのご報告をご希望される方は、下記のフォームからお申し込みをお願いいたします。皆様からのお申し込みお待ちしております！

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSetk0YIyTOb4RiOvXYkxk8NvE7b5aGscy9aP\\_UfLxFYi1\\_7WVw/viewform?usp=pp\\_url](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSetk0YIyTOb4RiOvXYkxk8NvE7b5aGscy9aP_UfLxFYi1_7WVw/viewform?usp=pp_url)

(松繁理事：看護・ケア研究部会担当)

#### 10. 渉外・国際交流活動の報告・告知

国際交流委員会では、関連する分野の国際学会や海外研究者招聘の予定、学会員の参加が可能な講演・セミナー等の情報提供を行っております。皆様からも、ぜひ情報をお寄せください。現在、以下について学会ホームページでもご案内しています。

□第19回アジア太平洋社会学会 (APSA)

□ISA RC52 Interim Meeting 2024

(平野理事：渉外・国際担当)

#### 11. 50周年記念公開シンポジウム「薬害と保健医療社会学の50年」の動画閲覧について

5月25日・26日に東京保健医療大学船橋キャンパスで行われた第50回日本保健医療社会学会大会では、理事会企画として50周年記念公開シンポジウム「薬害と保健医療社会学の50年」を開催いたしました。登壇してくださった花井十伍さん、近澤昭雄さん、小澤温先生、およびフロアからコメントや質問をしてくださった参加者の皆様のおかげで、大変充実した、印象に残るシンポジウムとなりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。そこでこのシンポジウムについて、大会開催校のご厚意により、学会員限定で当日配信したオンライン映像とプレゼンテーション資料を閲覧可能となりました。期間は8月末までとなっております。当日参加できなかった会員の方々には是非ご活用ください。なお、映像や資料の一部はDLが出来ずオンライン視聴のみとなりますが、どうぞご理解ください。

閲覧方法：以下の文書にアクセスしてパスワード「50JSHMS」を入力してください。閲覧用

ファイルへのリンク文書が開きます。

<https://www.dropbox.com/scl/fi/bhlp16cfh9jps549cbiga/50thSympoURL.docx?rlkey=psz4p8h93fw4sig8npk51glxi&st=2j574gg8&dl=0>

(佐藤理事：研究活動担当)

## 12. 会員の動向

2023年8月1日～2024年5月7日までの申請者数は下記の通りです。

入会者数：通常会員 29名、共同発表会員（通常）8名、学生会員 11名

退会者数：通常会員 26名、通常会員（減額）1名、共同発表会員（通常）10名、学生会員 1名、シニア会員 1名

逝去：名誉会員 2名、通常会員 1名

資格喪失：通常会員 3名

学生会員への変更数：19名

シニア会員への変更数：8名

常勤職にない会員の会費減額申請数：23名

(学会事務局)

## 13. 編集後記

ニューズレターNo.128では、第50回大会報告、第51回大会案内をお届けしました。8月末まで配信予定の50周年記念シンポジウムの録画の視聴方法についても記載しております。また、編集委員会からの投稿規定等の変更のアナウンスも掲載しています。

日本保健医療社会学会ニューズレターは、No. 92からPDFファイルのメールマガジン形式で配信しています。また学会ホームページ (<https://square.umin.ac.jp/medsocio/>)でも公開しています。

(井口理事：広報担当)

発行：日本保健医療社会学会      編集：広報担当（井口高志）

学会事務局：東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

jshms-office@as.bunken.co.jp      TEL：03-6824-9375